

平成 14 年度事業報告

1 会員状況

1.1 法人会員および団体会員

級 種	平成 14 年度末	平成 13 年度末	増 減
1 級	13 社	13 社	0 社
2 級	8 社	9 社	- 1 社
3 級	19 社	18 社	1 社
4 級	26 社	23 社	3 社
5 級	94 社	96 社	- 2 社
計	160 社	159 社	1 社

1.2 個人会員

種 別	平成 14 年度末	平成 13 年度末	増 減
普通会員	1738 名	1778 名	- 40 名
学生会員	69 名	80 名	- 11 名
計	1807 名	1858 名	- 51 名

1.3 名誉会員 (16 名)

阿河 利男 阿部 芳郎 大城 芳樹 荻野 圭三 北原 文雄 小森 三郎 櫻井 洸
佐々木恒孝 高木 徹 豊口 満 西 一郎 橋本哲太郎 早野 茂夫 松本 太郎
森 昭 渡辺昭一郎

1.4 会費収入の推移

3 事業報告

3.1 本部事業報告

本部事業は、企画・部会統括委員会を中心にセミナーを5回実施し、その結果は下記のとおりであった。また、専門部会を中心に「界面活性剤評価・試験法」を編纂・出版した。

・フレッシュマンセミナー	開催回数	2回	参加者数	273名
・関西フレッシュマンセミナー	開催回数	1回	参加者数	79名
・基準油脂分析試験法セミナー	開催回数	1回	参加者数	75名
・界面活性剤セミナー	開催回数	1回	参加者数	52名

3.2 支部活動報告

(1) 支部委員会等の開催

- ・関東支部 常任幹事会3, 幹事会1, 事業企画委員会3
- ・東海支部 常任幹事会3, 役員会1, その他委員会1
- ・関西支部 常任幹事会5, 幹事会3

(2) 支部による講演会, セミナー等の行事開催

支部による講演会, セミナー, 交流会等の行事は、延15回開催され、参加者数は延781名を数えた。ご出講いただいた講師の先生方は延62名であった。

・関東支部	開催回数	6回	参加者数	209名
・東海支部	開催回数	3回	参加者数	180名
・関西支部	開催回数	6回	参加者数	391名

3.3 専門部会, 若手の会, マスターズクラブ活動報告

講演会, セミナー, 談話会等の行事は、延25回開催され、参加者数は延1,419名を数えた。ご出講いただいた講師の先生方は延83名であった。

・専門部会	開催回数	19回	参加者数	1,254名
・若手の会	開催回数	2回	参加者数	84名
・マスターズクラブ	開催回数	4回	参加者数	81名

3.4 日本油化学会誌発行状況

(1)「Journal of Oleo Science」誌 第51巻 第1号~12号 総ページ数 888ページ
オリジナル論文中心の英文学術雑誌として発行した。2002年の英文化率は77%。

掲載内容	報文・ノート・速報	英文	80件	582ページ
		邦文	18件	137ページ
	総説	英文	2件	19ページ

(2)「オレオサイエンス」誌 第2巻 第1号~12号 総ページ数 1284ページ

学術的啓発と情報を中心とした情報誌として発行した。

掲載内容	総合論文・総説・入門講座	35件	300ページ
	研究文献抄録	351件	68ページ
	国際油脂情報	355件	79ページ
	会務・会告等		356ページ
	広告	147件	99ページ

3.5 第41回日本油化学会年会(50周年記念大会)

戸谷洋一郎実行委員長を中心に実行委員会を組織し、関東支部の協力のもとに準備・開催した。本年会では、記念講演として二木鋭雄日本油化学会会長、Mark Matlock AOCs 副会長の講演が行われたほか、専門部会の主催によるシンポジウムおよびランチョンセミナーが開催され、盛況裡に終えることができた。また、本年会よりヤングフェロー賞の表彰が実施され、中村承平、浮谷基彦、堀越 智の3氏に賞状が授与された。

期 日 :平成14年9月20日(金)~22日(日)

会 場 :成蹊大学

内 容 :

参加者総数	703名
講演件数	202件
・特別講演	2件
・教育講演	2件
・受賞講演	5件
・一般講演	135件
・ポスター発表	49件
・シンポジウム	10件
・ランチョンセミナー	8件
・若手の会講演	2件
・油脂工業会館油脂優秀論文賞受賞講演	7件

第11回JOCsオイルカップスポーツ大会

・テニス:成蹊大学テニスコート	参加者	28名
・ボーリング:東京ボウリングセンター	参加者	32名
・ウォーキング:2マイル,10マイル	参加者	20名

3.6 創立50周年記念事業

9月19日に50周年記念式典・記念講演会を武蔵野市民文化会館で、記念祝賀会を吉祥寺第一ホテルで開催した。記念式典にはMatlock AOCs 副会長、池上日本薬学会会頭他の来賓のご出席をいただき、祝辞・祝電の披露、AOCsからの記念品贈呈、各賞受賞者の表彰、50年会員への感謝状贈呈等盛沢山の行事が執り行われた。記念講演会では江崎玲於奈、北野 大両氏による講演が行われ、一般市民の参加もみられた。参加者 約130名。記念祝賀会では、ご来賓の各氏に加えて柳井道夫成蹊大学学長の挨拶もあり、盛会であった。参加者 253名。市民フォーラムは、名古屋(4月)、酒田・鶴岡(5月)、鳥取(6月)、大阪(7月)、東京(8月)の各都市で開催した。参加者 823名

3.7 JOCs/AOCs ジョイント・シンポジウム(JS2004)

和田 俊実行委員長のもとに実行委員会を組織し、準備が進められている。AOCsのC.T.HOU 実行委員長とJ. Willis 副会長が打合せのため3月に来日され、2004年5月AOCsの年会(シンシナティ)時に開催することになった。脂質と栄養・健康、バイオテクノロジー、脂質の酸化・抗酸化、リン脂質の4分野におけるシンポジウムを行う。